



筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる” 2017年8月-夏号

2017年8月25日配信

—OB・OG と学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX

1. つくばのモダン蕎麦／深作歩美
おしゃれな贅沢蕎麦屋さんをご紹介します
2. 茨城で夏を楽しむなら、大洗／前名裕一
暑い季節には大洗で癒されましょう
3. サークル紹介「ミュージカル集団 ESSASSA」／金久保響子
つくばでもミュージカルを見ることができます！
4. おいしいとんかつを食べよう！／助川まりえ
天久保2丁目のおいしいとんかつ屋さんをご紹介します
5. 筑波大の自販機特集／吉永真理
特記すべきことのある自販機を集めました
6. 筑波大のダイバーシティに迫る／越智小夏
筑波大も前進しています
7. 筑波学院大の学食にフランス料理屋がオープン／添島香苗
筑波大のお隣の大学で、本格フランス料理が味わえます
8. 就職活動を終えて／寺尾侑子
働くことがよくわからなかった私が、就職活動を通して感じたこと

1 つくばのモダン蕎麦



皆さま、いかがお過ごしでしょうか。暑い日が続いていますね。私は夏本番前に 10 kg のダイエットに成功しました！ ダイエットといっても、研究室にずっと引きこもって実験していただけなのですが、身近な理系学生に太っている学生がいない理由が分かりました。

今回は、つくば市内の蕎麦屋についてご紹介します。実は私、蕎麦が嫌いで、年越し蕎麦を少し食べる以外は蕎麦を食べません。ですが先日、知り合いに「すごく美味しいから」と誘われ、しぶしぶ蕎麦屋に行くことにしました。

訪れたのは、「手打ち蕎麦示庵 cyan」というお店です。店の前に着いて、その外観に驚きました。モダンな美術館のようなお店で、蕎麦屋さんと教えてもらえなければ気づかないと思います。「本当に美味しいの……？」と不安な気持ちで入店しました。店内は「和モダン」でおしゃれな感じでした。お客さんには上品な女性や、デートで来ていると思われる筑波大生が多かったです。

頼んだのはランチコース b (2980 円) です。値段が高くて驚きました。「美味しくなかったらこの知り合いとはもう二度と食事に行かないぞ」と密かに決意しました。



まず、出てきたのが「鱧の子の煮凝り」です。煮凝りを初めて食べたのですが、プルプルした食感でさっぱりとしていて食べやすく、夏にぴったりでした。



次の料理は「メゴチの湯引き」。メゴチは癖のない白身魚でした。ナスやズッキーニなどの野菜も新鮮で、農学を学んでいる私はその味に感動していました。かかっているタレは、とても優しい味わいで、「スープとして出してほしい」と思うくらい美味しかったです。



次は「アナゴの天ぷら」です。天ぷらは今まで食べた中で一番おいしかったです！衣はサクサクしていて、油っぽくなく、「これが本当の天ぷらか……！」と思いました。サクサクの衣にフワフワのアナゴ。タマネギやアスパラガスの天ぷらも美味しく、どうやって栽培したらこんなに美味しい野菜になるのか考えていました。また、レモンの天ぷらもあり、その甘さに驚きました。



続いて、メインの蕎麦です。私は「梅おろし」を頼みました。蕎麦の味をごまかしたかった、というのと、さっぱりしたかったのでこの味にしました。大根おろしの辛味と梅の酸っぱさで蕎麦が苦手な私でも美味しくいただきました。



最後に、「自家製最中とアイス」がデザートに出されました。最中の餡は手亡（てぼう）だそうです。パリパリの最中の皮の中に、上品な冷たいアイスと、豆の食感の残る餡が入っていました。口どけ滑らかなアイスがざらざらとした餡を包みこんでいて、最中の皮が甘さを抑えていて、「ずっと食べていたい」と思うくらい美味しかったです。アイスがこぼれてしまうので、最中をつぶして皮をくっつけてから食べることをお勧めします。

これから夏本番。きちんと食事をとって乗り切りたいと思います。みなさんもつくばを訪れた際はぜひ食べてみてください。

手打ち蕎麦示庵 cyan
茨城県つくば市学園の森 3-9-1
TEL 0298968768
Lunch Time 11:30~22:00 15時~は予約のみ

(生命環境学群生物資源学類 4年 深作歩美)

2 茨城で夏を楽しむなら、大洗



夏は海水浴などのマリレジャーや観光が活発になる時期で、全国各地の観光地、特に海に面した場所は人気があります。茨城県内にも多くの海水浴場や観光地があり、夏には多く

の観光客でにぎわいます。今回、茨城県でも有数の海に面した観光地である大洗町を取り上げます。

大洗町はつくばセンターから直通バス「TM ライナー」で水戸駅へ行き、大洗鹿島線に乗って15分ほどで着きます。また、水戸駅までは路線バスで土浦駅に行き、JR常磐線で行くこともできます。大洗町は神社や海水浴場など多くの観光施設を有する町で、特に有名な「アクアワールド茨城県大洗水族館」にはこの時期になると、多くの観光客が訪れます。また、大洗町を舞台にし大ヒットしたアニメ「ガールズ&パンツァー」に関する展示をしている「ガルパンギャラリー」も人気を集めています。大洗町で運行されているバスの本数は少なく不便ですが、駅でレンタサイクルの貸し出しも行われており車がなくても移動にはあまり困りません。

私は海水浴場の「大洗サンビーチ」へ行ってきました。私が行った日は少し肌寒かったため、海水浴客はあまりおらず少し寂しかったですが、穏やかな波とはるか遠くまで続く水平線は迫力がありました。道中、茨城県の海産物や農産物を売る「大洗まいわい市場」や大洗の町や海を一望できる「大洗マリンタワー」もあり、海水浴後も観光を楽しむことができます。仮に人が多すぎて海に入れなかった……という場合でもこれらの施設で楽しむことも可能です。

また、大洗町は港町ということもあり、海産物を味わうことができる飲食店が町内各地に存在します。生しらす丼や数多くの種類の海産物を用いた海鮮丼など、ここでは紹介しきれないほどですがきっとお気に入りの味が見つかります。大洗へ行った時には、ぜひ自慢の海産物を楽しんでください。

この記事が配信される頃には、夏の終わりが近づいているかと思います。ですが、まだまだ暑い日が続いているでしょう。雄大な海以外にも、数多くの魅力を秘めた町、大洗。海が、茨城が恋しくなったら、おいしい海産物が食べなくなったらぜひ大洗へ行ってみてください。

(社会・国際学群社会学類3年 前名裕一)



読者の皆さま、残暑の厳しい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。私が記事

を書いている7月末、筑波大学では期末の試験期間を迎え、単位取得のために学生たちが悪戦苦闘しているところです。なんとか試験期間をやり過ごせば長い夏休みが待っています。私は現在学群4年生であり、これが学群生最後の夏休みとなります。今年の夏休み、私は卒論を進めると同時に、引退の近づくサークル活動に尽力しようと思っています。私はミュージカル集団 ESSASSA というサークルに所属しています。“えっさっさ”という古風な名前をしていますが、ミュージカルを上演することを目的に活動しているサークルです。今回の記事では、このミュージカル集団 ESSASSA の紹介をしたいと思います。

ミュージカル集団 ESSASSA の構成員は現在 60 人ほど。このサークルは元 ESS(English Speaking Society)から分離して成立しました。“えっさっさ”という不思議な名前は、ESS から派生して作られたようです。ESSASSA は基本的に年に3回、大学の教室を借りてそこに舞台を立て、ミュージカルを上演しています。上演する作品は既存の脚本からオリジナルの脚本、そして複数の作品から曲だけを集めたレビューショーまで多岐に渡ります。

読者の皆さまはミュージカルの舞台をご覧になったことはあるでしょうか。観劇者として



て舞台を見たときに、まず目につくのは舞台に立つキャストだと思います。それ以外に、ミュージカルを上演するためにどんな役割を持った方たちが関わっているのか想像してみてください。ESSASSA では、1つのミュージカルの舞台を作り上げるために、公演によって多少異なりますが、約15もの役職が活動して

います。演出や制作、舞台監督といった中枢を担う人たち、舞台美術や照明、音響といった主に舞台を立てるために活動する人たち、そして振付や歌唱、演技指導など舞台に立つキャストを指導する人たちがいます。これらの役職がお互いに協力し合い、1つの舞台を作り上げていくのです。1つの舞台の準備にかかる期間は約3,4カ月。一から作り上げた舞台が成功し、観劇された方から大きな拍手をもらったときの達成感はとても素晴らしいものです。写真は去年行った公演のものです。

近年、映画界にて『アナと雪の女王』に代表されるミュージカル映画が公開され、『美女と野獣』や『LA LA LAND』なども有名です。ESSASSA の構成員も増加傾向にあり、ミュージカルに興味を持つ人は年々増加しているように感じます。

ミュージカルは歌とダンスと演技が融合している舞台です。音楽はときに人を笑わせ、と

きに泣かせ、日常から離れた世界へと私たちを連れて行ってくれます。プロのミュージカルの舞台は、劇団四季や宝塚などが上演している舞台を見ることができます。しかし、プロの舞台を見るにはお金がかかり、初めてミュージカルを見る人にとっては少しハードルが高いのではないのでしょうか。そんなとき、このミュージカル集団 ESSASSA を思い出していただけたらと思います。筑波大学でも無料でミュージカルを見ることができる。このことをぜひ覚えておいてください。ここまで、読んでいただきありがとうございました。

ミュージカル集団 ESSASSA 公式 HP

<https://essassa.jimdo.com/>

(人文・文化学群比較文化学類4年 金久保響子)

4 おいしいとんかつを食べよう！



暑い日々が続いて、夏バテ気味の方も多いのではないでしょうか。実は私もそのひとり。今回はそんな、ちょっと食欲のない季節にもおいしすぎてついつい足を運んでしまう、私の行きつけのとんかつ屋さんをご紹介しますと思います。

今回ご紹介する天久保2丁目のとんかつ屋さん「とんとこ豚」は、学園東大通りから一本入った道沿いにある個人経営のお店です。すぐ近くには、「サイベックス STEP つくば店」や「ココス学園天久保店」などがあります。画像1はお店が公式で公開している外観の写真です。私がこの記事を書くために訪れたのは平日の夜でしたが、宴会の予約が入っていたこともあってお店は大繁盛！ 駐車場はほぼ満車。外で並んでいるお客さんもいるほどでした。

そんな「とんとこ豚」の定番メニューは上質な脂身が特徴の“ロースかつ”です！ シンプルにソースで食べるのはもちろん、人気ナンバーワンのみそかつや、ネギとみょうがをのせてポン酢だれで食べる薬味ロースかつなどもオススメです。学生であれば平日夜はこれらのメニューをランチ料金で食べられます。



画像 1

この日私が選んだのは、「奥久慈ポークロースかつランチ」。ランチメニューでは税込1,100円です（来店したのは夜ですが、学生料金としてランチの値段で提供していただきました）。おかわり自由のキャベツと、一回までおかわり無料のご飯とお味噌汁（このお味噌汁がまたクセになる味なのです）が付くという大満足のボリュームです！奥久慈ポークのロースかつ（画像3）は、サクサクの衣とやわらかくて口内でとろけるようなお肉のケミストリーにいつも感動します。2種類から選べるドレッシング（ごま・和風）をかけて食べるキャベツ（画像2）も一度食べたら止まらなくなってしまうほどです。



画像 2



画像 3

こうした定食以外に、「とんこ井」と呼ばれるソースかつ丼もまた絶品です。特製の甘じょっぱいたれが、かつとご飯にしっかり染み込んで定食とはまた違ったおいしさが楽しめます。こちらもかなりのボリュームがありながら、税込999円とリーズナブルである点も非常に魅力的です。

私がこのお店を知ったのは知人がアルバイトをしていたことがきっかけですが、初めてここのとんかつを食べて以来完全に「とんこのとんかつ」の虜になってしまいました。おいしいとんかつを食べられるのはもちろんのこと、気さくな店長さんをはじめとして、従業員の皆さんも明るくて素敵な方ばかりなので、お店の雰囲気がとても温かいのも重要なオススメポイントのひとつです。

厳しい残暑の季節、「とんこ豚」のおいしいとんかつを食べて夏バテを吹き飛ばしましょう！！

<お店情報>

- ・住所：茨城県つくば市天久保 2-18-4
- ・営業時間：昼 11:00~14:00
夜 17:30~21:00(L.O)
- ・定休日：火曜日

(人文・文化学群比較文化学類4年 助川まりえ)

5 筑波大の自販機特集



暑い日が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。暑い夏には水分補給が欠かせません。水分補給について考えたとき、必要不可欠な存在が一つ思い起こされます。何でしょうか……。

そう、「自動販売機」です。

いつも何気なく利用していますが、自動販売機は特に夏、私たちの生活に無くてはならない存在になっています。

私は入学してから今まで筑波大の自販機設置環境に不満は無く、丁度良い場所に十分な数が配置されていると感じます。という訳で、強引な流れではありますが、今回は「筑波大学の自動販売機」について書こうと思います。全ての自販機をご紹介したいところですが、大学内全ての自販機を調べると膨大な数になってしまうため、気になった自販機をいくつか取り上げました。

まずはこちらです！



2 A 棟 1 階南出入口、2 学食堂に向かう途中にある自販機です。こちらの自販機は主に 2 学で授業を受ける私が最もよく利用する自販機の一つです。

しかし、よく調べてみると、この自販機が設置されたのは 2015 年でつい最近のことでした。以前より人間学群の学生から自販機の設置の要望があり、2015 年 5 月に設置されたようです。いつも利用している自販機がつい最近まで無かったと知り、少し驚きました。この自販機を利用している人は多いと考えられるので、設置が決まって良かったと思いました。

続いてはこちらです。



3 A 棟の食堂の裏にある自販機です。ここには計 3 台の自販機が設置されています。実はこの場所、以前まで 4 台の自販機がコの字型に並んでいる、少し窮屈な空間でした。自販機の密集地として紹介しようと思ひ写真を撮りに行ったのですが、何故か台数が減ってすっきりとした空間になっていました。

気になったので大学に問い合わせたところ、2011 年の東日本大震災以降、節電のために売り上げなどを見て大学内の自販機を減らしており、その一環で 3 A 棟の自販機も整備されたようです。聞くとところによると、筑波大学は他の大学に比べて自販機の数が多いらしく、整備される前は約 140 台あり、整備された後でも構内には 100 を超える自販機があるそうです。

最後に、飲み物以外の商品を扱う自販機を 2 つご紹介します。



3学エリアの研究棟にあるアイスの自販機（左）と、5C棟にある補助食の自販機（右）です。調べた限り、アイスや補助食の自販機はこの場所にしかありませんでした。

アイスの自販機は3学エリアの総合研究棟Bの1階にあります。構内の自販機を調べていくと、学群生が使用する教室がある棟に比べて、研究棟には飲み物以外の自販機が多いと気付きました。例えばこの自販機の隣や、2学エリアの生物・農林学系棟などにはパンの自販機があります。やはり、研究が始まると外にご飯を買いに行く暇も無いということなのでしょうか……。

5C棟の2階にはカロリーメイトやソイジョイなどの補助食を販売する自販機がありました。駅のホームでよく見かけるようなものです。これもこの場所にしか見られない自販機で、体育専門学群生をターゲットにしているのだと思います。丸善のような店が近くに存在しないことも設置の理由かもしれません。

いかがでしたでしょうか。日常に溶け込んでいる自動販売機ですが、卒業生の皆さまが筑波大学での生活を思い出すきっかけになれば幸いです。暑い季節、水分補給を忘れずに過ごしていきたいと思います。

（生命環境学群生物学類2年 吉永真理）

6 筑波大のダイバーシティに迫る



最近耳にすることが多い、「ダイバーシティ」という言葉。広く、性別や人種、年齢、学歴、価値観などの多様性を受け入れ、より良い社会を目指そう、という考え方のことを言います。近年注目が集まっているこの言葉ですが、筑波大では「ダイバーシティの推進はどのように進められているのでしょうか。留学生、セクシュアルマイノリティの視点から、筑波大のダイバーシティに迫ってみました。

■留学生

筑波大には現在、学群生や大学院生、合わせて約2400人の留学生が在籍しており、全国でもトップレベルの人数を誇っています。

そんな筑波大ですが、今年に入って、宗教への対応方針が発表されました。近年、ムスリムなどの日常的に礼拝を行う留学生が増え、それに伴い「どこで礼拝をすればよいか分からない」といった相談が増加したことが理由だそうです。条件の範囲内であれば「空き教室を礼拝に使っても良い」などの発表がされました。

今年4月に平砂地区に新設された、留学生と日本人学生が共同生活を行う「グローバルヴィレッジ」には、共用スペースに「メディテーションルーム（瞑想室）」が設置されています。礼拝を行う際に必要な足洗い場が設置されるなど、簡単に使用できる設計になっています。

また、筑波大の第2エリアには「カフェマルハバン」という、ハラールフード（イスラム教の調理に関するルールを守った料理）を提供している店もあります。ベイクドチキンなどボリュームがある鳥料理が多く、値段は500～600円と手ごろです。少しずつ、さまざまな宗教事情を持つ留学生への対応が進んでいます。



カフェマルハバンの看板
ハラール認証マークが書かれている

■セクシュアルマイノリティ

近年日本でも、性の多様性などを主張して、渋谷でレインボーパレードが行われるなど、セクシュアルマイノリティに対する意識が高まっています。筑波大でも今春、全国の国立大学に先駆けて「LGBT等に対するガイドライン」が発表されました。

ガイドラインには、「少数者を差別しない」などの基本理念の他に、トイレなどの施設の利用方法などが掲載されています。特に強調されていたのは、個人情報の取り扱いに関する部分でした。セクシュアルマイノリティの中でも、例えばトランスジェンダー（心と体の性に違和感を感じる人）の方の中には、戸籍上の性と異なる性で普段生活している人もいます。そういう方にとって、自分の意図しない形で性別や氏名が公開されてしまうことは、精神的な苦痛になります。ガイドラインには、掲示物や配布物に性別を書かない、 unnecessary書類の性別の記述欄を外す、などが細かく掲載されていました。

また、ガイドライン発表に伴って開催された学内のキックオフシンポジウムでは、座席が足りなくなるほどの教職員や学生が参加していました。質疑応答の際にもさまざまな質問が上がり、この問題に対する意識の高さが伺えました。

宗教やセクシュアルマイノリティへの対応が、日本は他の先進国に比べて遅れていると言われています。そんな中で先駆的に対応を始めた筑波大が、今以上に、だれにとっても過ごしやすい大学になればと思います。

(人文・文化学群比較文化学類2年 越智小夏)

7 筑波学院大の学食にフランス料理屋がオープン



多くの大学生がお世話になる学生食堂。筑波大学内でも、定食をはじめパンに麺類、スープなど、幅広いメニューを味わうことができます。

しかし、おいしい学食が楽しめるのは筑波大だけではありません。つくば駅から徒歩7分の場所にある、筑波学院大学（つくば市吾妻）に今年4月、一風変わった学食がオープンしました。なんでも、フランス家庭料理がリーズナブルに楽しめるのだとか。学外者も利用OKとの

ことで、足を運んでみました！

*つくば市で30年以上続く老舗

今回、筑波学院大の学食にオープンした「カフェ・ド・グルマン」は、つくば市で30年以上続くフランス本格料理店。大学側から要望があり、店舗を移転する形で出店が決まりました。

*利用する際の注意点

「グルマン」の店内は「レストランエリア」と「学食エリア」に分かれており、それぞれ営業時間やメニューが異なります。

「レストランエリア」の営業時間は11:30～21:00（20:30ラストオーダー）で、時間帯によりランチ・カフェ・ディナーのメニューが提供されます。一方「学食エリア」の営業は11:00～14:30で、土日など大学の休日はメニューの提供がありません。また、学食メニューを学外者が利用する場合は、大学関係者よりもやや料金が高くなります。ホームページを見て、事前に営業時間やメニューを確認してから行くのをおすすめします！

*リーズナブルな本格フランス料理

私は今回、週末のランチタイムに「レストランエリア」を利用してみました。

レストランエリアの利用者は、まず席に座って案内を待ちます。店内はクラシック音楽が流れており、学食らしからぬ落ち着いた雰囲気。学食だからと気楽に構えていた私ですが、想像以上に「フランス料理レストラン」の雰囲気が強く、やや緊張……！

ほどなくして、店員さんがメニュー表を持ってきました。この日のメニューは「A ランチ 白身魚のバター焼き ムース詰め」、「B ランチ 豚ヒレ肉のステーキ」、「C ランチ 国産若鶏のオリーブオイル焼き」の3種類。いずれもスープとサラダ、ライス or パンが付いて 750 円（税込）。私は C ランチを注文しました。

料理はスープ、サラダ、メインディッシュの順に席まで運ばれてきました。普段行くのはファミレスやラーメン屋ばかりなので、内心あたふたする私。



どの料理も美味しかったですが、メインディッシュの若鶏のオリーブオイル焼きは、やや苦味のあるオレンジ風味のソースが深みを出していて絶品でした。パンはさりげなく2種類あったのがポイント高かったです。香ばしくていくらかでも食べられそうでした。

思っていた以上に本格的な味で、量もしっかりとあり、大満足のランチでした。これで 750 円は

安すぎます。

「カフェ・ド・グルマン」では今回紹介した以外にも、コース料理が味わえるディナーや、リーズナブルなランチが楽しめる学食メニューなどがあります。こんなに素敵な学食がある筑波学院大の学生が、少し羨ましくなっていました。つくば駅から徒歩で行けるので、卒業生のみなさまも是非足を運んでみてくださいね。



(生物科学専攻博士前期課程 1 年 添島香苗)

8 就職活動を終えて



わたくしごとで大変恐縮ではありますが、先日就職活動を終えました。「18 (イチハチ/ジュウハチ) 卒」と呼ばれる私たちの就職活動は、暦の上では短期決戦。わたしの場合、3月以降の手帳はほぼ就活に関する予定で埋まりました。毎日のように都心へ出かけ、慣れないパンプスでビルの間を駆けまわり (比喩ではない)、帰ってからはエントリーシートをせせと書き、眠りにつく日々。確かに辛いこともありました、そんな就職活動中でも楽しみだったのが、筑波大学出身の先輩方に OB・OG 訪問などでお会いすることでした。

就職活動を始めてみるまで、恥ずかしながら、わたしは「働くということ」がどうということだかあまりよくわかっていませんでした。生活の糧を稼ぐとか、社会参画する、なんていうことが言えないわけではなかったですが、自分の言葉でそのことについて話すことは全くできませんでした。わからなかったからこそ怖く、「就活必勝本」のようなものを読んで、暗澹とした気分になっていました。

でも、就職活動を始めて、先輩方のお話を聞けば聞くほど、社会は四角四面ばった場所ではないことに気が付きました。仕事のうれしかった話、きつかった話、新人の頃の話。当たり前だけれども、エントリーシートの向こう側の世界は自分が想像していたよりも遥かに人間味のあふれる場所でした。いろいろな人がそれぞれ持つ「働く論」をうかがって、社会に出ることを昔よりも前向きにとらえることができるようになりました。働くということは、相変わらずまだうまく言葉にできませんが、それは自分が実際に社会に出てから、自分の体験を通じて話せるようになればいいなと思います。いつかわたしも、先輩たちのように。

月並みですが、どんな就職本を読むよりも、人に会う中で見つける共通項のほうがわたしにとって、有意義な体験となりました。就職課のホームページを見て、会いたい人に片っ端から連絡を取ってみてよかったなあと思います。就活、大変だったけどやってみて良かったです。

末筆ですが、最後に一つだけ。筑波大学では、卒業・修了生の方向けに OB/OG 登録のお願いをしています。下記の URL より、ご登録が可能です。働く場所が変わったという方も

改めてぜひ。みなさまのお話に勇気づけられる学生は、わたしのほかにも必ずいます。

<http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/obog/index.htm>

春から、いよいよ社会へと舟をこぎだします。お仕事の中で、筑波大の先輩方とお会いできる日を楽しみにしております。それまでみなさまもご自愛くださいませ。それでは、いつかどこかで！

(社会・国際学群国際総合学類4年 寺尾侑子)



『編集後記』

ペデジャーなる夏号、お楽しみいただけましたでしょうか。今号では、夏らしいグルメや観光地の紹介に加え、サークルや大学の取り組みを紹介する記事もいくつかあり、筑波大学をまた違った角度からお伝えすることができたのではないかと思います。

この夏号が配信される頃には、8月も残り僅かとなり、世間では既に秋のムードが漂っていることと思います。しかし、筑波大生の夏休みはむしろこれからが本番です！ 大学4年生の私にとって、今年は人生最後の夏休みなので若干センチメンタルな夏になりそうです。「夏休み」という言葉が、こんなにキラキラ輝いて人をワクワクさせるのは、「夏休み」が同時にとても儚くて、明確に終わりのあるものだからなのかもしれません。“一回きり”であることが分かっているからこそ、後悔しないように思い出に残る夏にしたいです。

OB/OGの皆様は学生時代どのような夏休みを過ごしたのか覚えていらっしゃるでしょうか？旅行、サークル、バイト、勉強などなど夏休みの過ごし方は様々だと思いますが、きっとそのどれも輝いていたことと思います。時には当時の気持ちに戻って、一回きりの夏を思う存分楽しんでみてはいかがでしょうか。このペデジャーなる夏号が、ささやかな時間旅行のおともになれば幸いです。

今号も、最後までお付き合いいただいた皆様、誠にありがとうございました。

(人文・文化学群比較文化学類4年 助川まりえ)



筑波大学のいろいろな取り組みのご紹介

<「筑波大学カード」について> 平成27年4月1日から筑波大学公式クレジットカード「筑波大学カード」事業がスタートいたしました！インターネットからもお申込みいた

けますので卒業生の皆様もぜひご利用ください！



- ・利用金額の一部が筑波大学基金へ寄附
- ・サービス協力店舗での優待

詳しくは、<https://alumni.tsukuba.ac.jp/cashcard.html>

をご覧ください。

<第2弾 国立大学本気の挑戦！筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト>

「知と技」を活かして箱根駅伝復活を目指す現役生の強化費用の支援募集を実施します。教育研究のさらなる活性化と本来あるべき学生競技の姿を示そうと志した【第2弾】となるプロジェクトです。皆様のご協力をお願い致します。



本プロジェクトは、寄附型クラウドファンディングサービス「Ready for Charity」を活用し、

9月8日(金)午後 11:00 までに目標金額 350 万円の達成を目指します。

下記 URL に詳しい内容と寄附申し込みが掲載されていますのでご覧ください。

○箱根駅伝復活プロジェクトウェブサイト

<http://tsukuba-hakone.win/>

○クラウドファンディング Web

<https://readyfor.jp/projects/TsukubaUnivHakone-EKIDEN/>

○本学ウェブサイト

<http://www.tsukuba.ac.jp/news/n201707201442.html/>

<筑波大学アリアンサエステートコーヒー>

地域限定 **サザコーヒーが大学と共同開発!**
筑波大学
アリアンサ エステートコーヒー

「筑波大学アリアンサエステートコーヒー」
アーモンドやビターチョコの香りと風味。しっかりとした甘さが残る後味が印象的なコーヒー。

一杯のコーヒーとともに
懐かしき大学時代に
思いを馳せて・・・

筑波大学はグローバル戦略及び世界展開力の一環として、サンパウロ
オフィスを開設するとともに、ブラジル連邦共和国のサンパウロ大学、
サンタ・クルス病院と協定を締結し、ブラジルにおける教職員、学生
の研究・教育交流を深めています。

その記念として、サンタ・クルス病院の石川レナット理事長が所有す
るアリアンサ農園の香り高く、高品質のコーヒーを、茨城県に本社が
ある株式会社サザコーヒーと提携して、10月1日(土)よりつくば市
内のサザコーヒー店舗にて販売しております。
また、サザコーヒーオンラインショップでも販売しております。

パッケージデザイン：原忠信（筑波大学芸術系准教授）

新しく5個入カップオンが誕生！！



思わずプレゼントしたくなるようなパッケージデザインは以前と同様、原 忠信先生(筑波大学芸術系准教授)にデザインしていただきました。

5個入りなのでお試しで飲んでみたい方にも最適です！ローストアーモンドのような香り、ダークチョコレートのような味わい。後味はココアのような余韻が残ります。つくば市内のサザコーヒーもしくはオンラインショップにて是非ご購入ください。

○サザコーヒーオンラインショップ：

http://www2.enekoshop.jp/shop/coffee/item_detail?item_id=2138220

 筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>

 筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

 筑波大学交流広場「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>
(筑波大学交流広場／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中!)

 編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

 デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学事業開発推進室

 ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学事業開発推進室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1 丁目 1 - 1

[TEL:029-853-2030](tel:029-853-2030) FAX:029-853-6576

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

 配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp



今回のタイトル写真撮影場所

筑波大学キャンパス内に留学生と日本人学生のシェアハウス型の学生宿舎『グローバルヴィレッジ』

2017年4月5日に新入学生と留学生合わせて259人が入居しました。本学が目指す国際性の日常化を実現するために計画、整備された宿舎です。1ユニットは、共用の玄関、リビングダイニング、シャワールーム、トイレと各個室で構成され、5人でシェアします。

敷地内には別館の交流棟「コミュニティステーション」があります。

スタディールーム、ラウンジ、和室やコミュニティキッチンを備え、さまざまな国際交流イベントなどで利用することができます。



コミュニティステーション

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved.